

S1-2

日本学術振興会から薬学会員へのメッセージ

Message from Grants-in-Aid for Scientific Research to the Member of Pharmaceutical Society

北 泰行^{1,2} (¹大阪大学大学院薬学研究科, ²JSPS)

科研費は、非常に長い歴史があり、あらゆる学問分野を対象として、研究者の自由な発想と研究意欲に基づいた活動を支援してきた。この科研費支援のより公平で公正な審査評価を実施するために、総合科学技術会議の提言により、平成 14 年度から日本学術振興会学術システム研究センターが設置された。本センターでは、日本学術振興会の関係する全ての案件の審査、評価、事業全般に対する提案、助言、学術振興会に関する調査研究、学術研究動向に関する調査研究を行いながら、さらに審査制度の見直しや審査委員の選考方法の改善など様々な改革を目指している。本講演では、本薬学会会員特に若い研究意欲に燃えている会員方が学術研究を一層発展させ、仮に産業界とつながりのないような基礎的な学問研究であっても支援出来る体制の重要性等、薬学分野における現状、問題点ならびに今後の展開について概説する。